

## 編集後記

6号をおとどけします。本年度も何とか3号発行することができました。もう1号出せるように準備をしていたのですが、森田の怠惰のため来年度回しとになってしまいました。この2年間の本誌について反省しますと、掲載された論文の対象が、史料の形態としては石刻がその多く占め、史料言語としては漢語がほとんどであることは、それぞれに事情のあることとは言え、「総合的な史料学」を目指すこの科研としては、努力をせねばならない点であると考えております。来年度は、科学研究費によるプロジェクトとしては最終年度にあたります。できれば4号刊行して、全10冊といたしたいと思うのですが、いかがになりますか。また、科研費終了後の本誌についても、お知恵があればお寄せください。本号でも版下作成にご協力くださいました牛根靖裕さんに感謝申し上げます。  
(もりた けんじ)

## 13、14世紀東アジア史料通信 第6号

2006年3月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)

「13、14世紀東アジア諸言語史料の総合的研究

元朝史料学の構築のために」研究グループ

(代表 森田憲司)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室

Newsletter on Historical Documents  
in the 13-14<sup>th</sup> century East Asia

No.6

March 2006

Edited by  
KENJI MORITA

Published by  
Research Project on "Historical Documents in the 13-14<sup>th</sup> century East Asia"  
Granted in Aid for Scientific Research of JSPS, Basic Research(B)

Kenji Morita, Department of History, Faculty of Letters, NARA UNIVERSITY, 1500 Misasagi, Nara  
JAPAN